

Clip Studio Paintを使う場合

【※】Clip Studio paint (以下「クリスタ」)は漫画やイラスト製作に用いられるソフトで、sacom worksの漫画製作事業でも使用しています。ここでは、クリスタを使用したワッペン原稿作成のコツを紹介していますが、基本的にクリスタを使える人向け解説であり、サポートは行っていませんのでご了承ください。

【1】手書きの要領で下書き

いきなりクリスタで描いてもよいですが、P6の要領で簡単な下書きを作成し、刺繍できる線の太さや文字の大きさを把握しておきましょう。

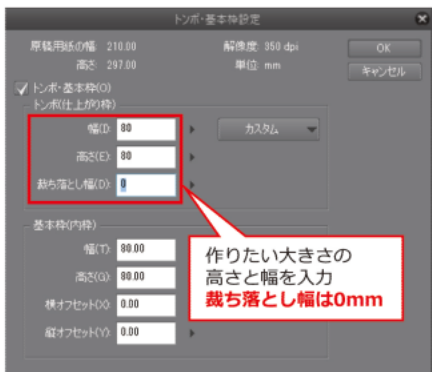
【2】新規作成

「任意の大きさ(A4など)」「350dpi」「カラー」「単位(mm)」で新規作成します。



【3】トンボ枠の設定

「表示」→「トンボ・基本枠の設定」でパッチ図案の大きさの枠線を作ります。「トンボ・基本枠」にチェックを入れ、予定しているパッチの幅と高さをそれぞれ入力します。また、「裁ち落とし幅」は0mmに設定します。



作りたい大きさの高さと幅を入力
裁ち落とし幅は0mm

【4】ベクターで線画を描く

「新規レイヤー」→「ベクターレイヤー」を設定し、トンボ枠内に「べた塗りペン」を設定し、トンボ枠内に「べた塗りペン」で1mm以上の太さの線画を描きます。ブラシサイズがPt(ポイント)になっている場合は「1mm≒14Pt」で換算します。線の強弱を付けたい場合もべた塗りペンで書いてから、太くなる部分を書き足すようにします。フチの太さ(3mm)は42Ptになり、トンボ枠線に収まるようにします。(なお、四角形などの場合、角をわずかに丸めるようにします。)なお、ベクターレイヤーは線を描くことに特化したレイヤーで、線を修正したり、太さや色の変更ができます。



フチ: 3mm (42Pt)
トンボ枠に収まるように描く。真円や正方形は「shift」を押しながら (Windowsの場合)

線画: 1mm(14Pt)以上



「レイヤーカラー」で色を変更する。あとで色調整がしやすい。

各レイヤーを塗る色は「黒」

「ラスタレイヤー」で色ごとにレイヤーを分ける。1つのレイヤーに何色も塗らない。

作例のベース生地は「藍色」

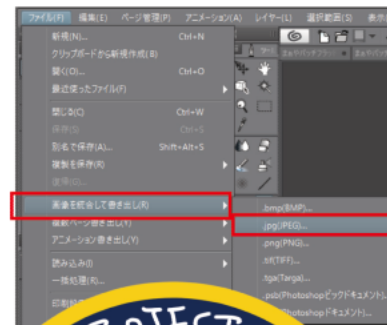
【5】レイヤーを分けて黒で着色する

面の着色は、色ごとに「新規ラスタレイヤー」を作成して行います。パケツツールなどで「黒」で必要な部分を塗りつぶし、レイヤーカラーで色を変更・調整します。

なお、ベクターレイヤーでは塗りつぶしはできません。背景色(生地色)はP5をご確認ください。

【6】書き出し

「ファイル」→「画像を統合して書き出し」します。「JPEG」「350dpi」「ページ全体」「RGB」で書き出します。(なお、カラープロファイルをCMYKで作成している場合は、「CMYK」で書き出ししてください。)



【※】円形に配置する文字

クリスタは主に漫画やイラスト作成を行うためのソフトなので、円形などに文字を配置するのが苦手です。べた塗りペンで仮の文字を描き入れて、図案の枠外に使いたいフォントで文字を記載してください。どうしても文字を円形に配置したい場合は、文字レイヤーを「ラスタライズ」→「選択範囲」→「拡大・縮小・回転」で、1文字ごとに整列させます。

